

○地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業 令和6年度実施状況

(山梨県)

事業名	事業の概要	事業の実施状況	KPIの達成状況	事業の成果及び評価
1 就職氷河期世代支援事業 【不安定な就労状態にある方への支援】	①就職氷河期世代支援事業の周知 ②就職氷河期世代限定求人の確保・周知	山梨日日新聞に特集ページとして就職氷河期世代求人や就職イベント情報等を年4回掲載するとともに、10月18日にはLINE広告を実施した。 ①R6.7.7 : 48社の就職氷河期世代求人を掲載、同世代向けのセミナーや山梨県就職氷河期世代安定雇用助成金及び山梨県就職氷河期世代正社員化促進奨励金等の周知 ②R6.8.25 : 42社の就職氷河期世代求人を掲載、同世代向けのセミナーや山梨県就職氷河期世代安定雇用助成金及び山梨県就職氷河期世代正社員化促進奨励金等の周知 ③R6.10.20 : 42社の就職氷河期世代求人を掲載、就職支援イベントや就職支援サイト等の周知 ④R7.2.2 : 36社の就職氷河期世代求人を掲載、就職支援イベントや同世代向けのセミナー、就職支援サイトの周知	【目標】 就職氷河期世代の求人確保数 252件 【実績】 特集ページにおいて、延べ 296件の求人掲載	・求人掲載した企業に採用状況を確認したところ、応募が22人あり、その内3人の正規雇用に繋がった。 ・5年度の求人掲載延べ301件、応募数21人、正規雇用1人と比較すると求人掲載数は微減したもの、応募数、正規雇用は増となった。氷河期世代本人だけでなく家族にも周知することができるなど、効率的な周知ができたと考える。
	③助成金による正社員雇用及び企業の定着への支援 (厚生労働省「特定求職者雇用開発助成金（就職氷河期世代安定雇用実現コース）」への上乗せ)	国の特定求職者雇用開発助成金（就職氷河期世代安定雇用実現コース）に上乗せ支給する「山梨県就職氷河期世代安定雇用助成金」による助成を実施した。 制度については、県ホームページ、山梨日日新聞の特集ページへの掲載、労働局や経済団体経由での企業周知を実施した。	【目標】 就職氷河期世代で失業状態又は非正規労働者が正規雇用労働者として雇用された人数 160人	・18事業所において18人の正規雇用に繋がった。
	④助成金による正社員化及び企業の定着への支援 (厚生労働省「キャリアアップ助成金（正社員化コース）」への上乗せ)	国のキャリアアップ助成金（正社員化コース）のうち、氷河期世代の正社員化に上乗せ支給する「山梨県就職氷河期世代正社員化促進奨励金」による助成を実施した。 制度については、県ホームページ、山梨日日新聞の特集ページへの掲載、労働局や経済団体経由での企業周知を実施した。	【実績】 正規雇用18件、正社員化35件 に対して助成金を支給	・24事業所において35人の正社員化に繋がった。
2 就職氷河期世代ひきこもり対策推進事業 【社会参加に向けた支援を必要とする方への支援】	①Webメディアによるひきこもり支援関連情報の発信	情報の入手しやすさを考慮したWebメディア（SNS広告、ディスプレイ広告）を活用して、国、県、市町村、民間支援団体の支援策や支援メニューの周知を実施した。 広告表示回数：3,503,487回 広告クリック回数：9,895回 クリック：0.28%（前年比；-0.07ポイント）	【目標】 県及び民間支援団体が行う就労訓練事業や居場所への参加者数 11人 【実績】 11人 <内訳> ・居場所参加：9人 ・就労訓練：0人 ・就業体験：2人	・ひきこもり当事者や家族へ周知できていると考えられ、社会参加に繋がった。
	②就職氷河期世代を対象としたひきこもり支援施策に関する調査	山梨県内在住の就職氷河期世代に対し、ひきこもり支援施策や相談窓口等の認知度やニーズを把握し、今後のひきこもり支援施策の推進に活用するため、webアンケートを実施した。 実施日：令和6年8月16日～26日 回答者数：809名 結果：自身や、家族、友人・知人に「仕事や学校に行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない状態」にあてはまる方がいると回答した者は、自分自身11.4%、家族（同居問わず）7.4%、友人・知人2.3%であった。 上記の方が「行政機関や民間の支援団体、家族会・当事者会の相談」を、現在も利用している方が19.7%、相談したことはあるが現在は利用していない方が18.5%であった。		ひきこもり状態にある方の約6割が相談機関を利用していない現状を踏まえ、継続的な相談・支援のためには、支援者の技術向上と相談しやすい支援体制の構築を図る必要があると考える。
	③メタバースを活用した居場所・交流事業	ひきこもり支援情報等を掲載したバーチャル設置、交流会（要予約、ミニゲームやテーマにそって参加者同士で交流）、個別相談（要予約）等を実施した。 開設期間：R6.10.25～R7.3.14、アクセス数：2,523回。 オープン記念イベント：R6.10.29 約20名参加（当事者や支援者等）、交流会：延28名（6回）、個別相談：1名		参加者の満足度が高いが、参加者数は少ない。認知度や利用までのハードルが課題であると考える。